



# たかまつ

<http://www.takamatsu-e.nerima-tky.ed.jp/>

学校の教育目標

●自ら学ぶ子

●思いやりのある子

●たくましい子

## 「ナマハゲ」への振る舞い

ナマハゲをご存じでしょうか。秋田県の伝統行事です。鬼のお面をかぶったナマハゲの「泣ぐ子はいねがー！」の声に、子供が号泣しているニュースを見たことがある方も多いかと思います。

ナマハゲは子供が大人になるために大切なものを表していると、思想家の内田樹氏は言います。それは一体どういうことでしょうか。

家の中には中の決まりがあります。食事、掃除、挨拶など、10の家庭があれば10通りのやり方があるでしょう。

家の外には外のやり方があります。それが常識です。登校（出勤）したら「おはようございます」と挨拶を交わしますし、ゴミはゴミ箱に捨てます。食事をするときも、見苦しくならないように気を遣うでしょう。

「家の中と家の外では、決まりが違うこと」。そして「外の決まりには従わなくてはならないこと」。この2つを理解させることを、内田氏は「子供の社会化」と言います。それは、親の仕事であると述べます。

親の仕事とは、ひとことで言えば「子どもを適切な仕方で社会化するということです。

内田樹『「おじさん」的思考』（角川文庫）

さて、ナマハゲに対して、親はどう振る舞うべきでしょうか。ナマハゲを「従わなくてはいけない外の決まり」として、敬意をもって接するのが、適切な振る舞いになります。やってきたナマハゲに「来るのが遅い」とか「やることやったらさっさと帰れ」のような「なめた」態度を取ったら、子供も同じような態度になるでしょう。つまり、子供は「家の中でも外でも、同じように振る舞って構わない」という、間違った学習をしてしまうのです。

本来、学校とはナマハゲと同一の機能を果たすものだ、と内田氏は書き、次のように続けます。

学校を子どものしつけやモラルの教化装置として効果的に機能させたいのなら、学校を取り巻く地域社会全体が「学校を畏れている」か、少なくとも「畏れているふり」をしなければなりません。  
(前掲書)

学校は勉強する場所であるとともに、集団生活を通して「社会化」していく場所でもあります。

それらがうまくいくには学校だけが努力しても駄目です。

これを読んでいる方が学校に対してどう振る舞っているかが大切なのです。

月	火	水	木	金	土	日
1 全校朝会 4時間授業 校庭 14:00	2 児童集会 校庭 15:30	3 文化の日	4	5 読書月間(2学期)終	6	7
8 全校朝会 校庭 15:30	9 遠足(5) 校庭 15:30	10 安全指導 委員会活動 校庭 14:00	11 兄弟学年遊び 校庭 15:30	12 事前健診(6) 校庭 15:00	13 学校公開 道徳授業 地区公開講座 校庭 -	14 校庭 -
15 全校朝会 下田移動教室(6) 校庭 15:30	16 下田移動教室(6) 校庭 15:30	17 就学時健診 校庭 -	18 音楽朝会 兄弟学年遊び予備日 校庭 15:30	19 クラブ(6校時) 校庭 15:00	20	21 校庭 -
22 全校朝会 校庭 15:30	23 勤労感謝の日	24 4時間授業 校庭 14:00	25	26 音楽科学習発表会 リハーサル 校庭 15:00	27 音楽科 学習発表会 校庭 -	28 校庭 -
29 振替休業日	30 全校朝会 避難訓練 校庭 15:30	凡例 (5・6): 5、6年	※緊急事態宣言の発令などにより、変更になる場合があります。その際は学校メールでお知らせします。			

## 輝けみんな！思い一つに チーム高松

体育科学習発表会と同じスローガンを掲げ11月27日(土)に音楽科学習発表会を行います。緊急事態宣言が解除され「歌えない」「吹けない」から「マスクをつけての歌唱」「短時間の吹奏」が可能となりましたが、再度制限されることも想定しながら取り組んでいます。演奏する方も聴く方も“音楽を楽しむ”ことができればよいと思っています。

### 1年生「きらきらぼし(合奏)」

#### 「いっしょにいたから(手話ソング)」

ハンドベルなどの楽器を使い、はじめての合奏に挑戦します。歌は手話を交えて気持ちをとどけられるように歌います。

### 2年生「ミッキーマウスマーチ(合奏)」

#### 「さんぼ(合奏)」「世界中の子どもたちが(歌)」

2年生135人で鍵盤ハーモニカを中心に一つの曲をつくり上げます。「世界中の子どもたちが」で歌える喜びを表現できればと願っています。

### 3年生「Dynamite(合奏)」

#### 「にじ(手話ソング)」

学年目標でもある3シャインに向かって3年の力を爆発させてアツと驚くぐらい一人一人が輝く素晴らしいものを表現します。

### 4年生「さくらさくら(箏&歌)」

#### 「Make you happy(合奏)」

春に学習した箏の演奏を歌と共にお届けします。合奏はクラスごとに演奏します。同じ曲でも少し違った演奏をお楽しみください。目指すはクラスの調和です。休み時間も練習に励んでいます。

### 5年生「ミッション・インポッシブル(合奏)」

#### 「虹(手話ソング)」

太鼓をたくさん使って5年生らしい躍動的な音楽を目指して練習しています。虹は思いやりの心、感謝の気持ちが届くように表現します。

### 6年生「八木節(合奏)」「IMAGINE(リコーダー)」

#### 「紅蓮華(合奏)」

和太鼓の魅力を生かしてパワフルに演奏します。久しぶりのリコーダーではしっかりと、最後に昨年取り組んだ曲を明るく元気に演奏します。目指すは日本の伝統と高松小の伝統です。

## 高学年の窓(6年)

10月9日に体育科学習発表会が行われました。6年生は、高学年として堂々とした発表ができました。児童の感想の一部をご紹介します。

行事は緊張するものではなく、仲間と楽しむものだと実感した。誰も見ていなくても努力できる自分をこれからも大切にしたい。

「努力すればもっと上を目指せる」「まだ自分にできることはあるはずだ」と、自分の中のチャレンジ精神を伸ばすことができました。

僕は、3人扇の位置に早く着けるように、夜に近所を走ったり、早く走るコツを紹介している動画を見たりして頑張りました。練習した甲斐があったと思います。

私は、本番前、自分の思い描いた演技をしたいと思っていたけど、本番後「自分だけじゃない、みんながいるから最高の演技ができるんだ」と思いました。「団結すること」をこれからも大切にしたいです。

代表の言葉を務めることになり、アイデアをクラスのみならずもらって考えました。しっかり練習して思いを伝えました。コロナ禍だからこそできることに感動しました。

今まで見てきたような組体操はできませんでしたが、今までにない新しい伝統を作ることがだんだん楽しくなってきました。フィナーレの拍手が予想以上でした。

コロナだからこそできること、と前向きに考え、素敵な発表をすることができました。これからも、「できることを一生懸命やる」という考え方を大切にしていきたいと思っています。

やらずに後悔するくらいならやって後悔する方が良い。そんな覚悟をもち、手を抜かずに100%の力で挑戦すること、取り組むことの大切さを学びました。



## 11月の生活目標

## 気持ちのよい言葉で心をつなごう

言葉にはとても素晴らしい力があります。あなたの一言で、相手を笑顔にさせたり、幸せにしたり、喜ばせたりすることができるのです。一方、またその一言で相手を悲しませたり、傷つけてしまったりすることもあります。もしかしたら、あなたの一言で相手の人生が変わるかもしれません。言葉は人と人をつなぐ大事なものです。

たくさんの言葉がある中でも「ありがとう」は特別な言葉だと思います。目を見て「ありがとう」と言われると、とても嬉しくて温かい気持ちになります。「こちらこそありがとう」と言いたくなりますね。

お互いに優しくなれる魔法の言葉「ありがとう」を心がけて生活してみると、素敵なことが起こるでしょう。

気持ちのよい言葉で温かい心と心をつないでいけるように、声をかけていきたいと思っています。今から始めよう！「ありがとう」

